横浜市総合保健医療センター

しらさぎ通信

理念:「個の尊重」「安心と信頼」を大切に、
質の高いサービス提供を目指します。

第 205 号
■発行日:令和 5 年 1 月
■発　行:指定管理者
公益財団法人横浜市総合保健医療財団
■発行責任者:総合相談室長　伊藤未知代
〒222-0035
横浜市港北区鳥山町1735番地
☎045(475)0103 Fax.045(475)0101

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。内科の 久邇之房　です。
早いものでこの施設が開苑して 30 年経過しました。また私事ですが当施設に着任したのが 1993 年 1 月 1 日でしたので、私自身も 30 年間勤務させていただきました。
ほぼ開苑から関わらせて頂いたことになります。
この間を思い出すと、介護の進歩は如実に認められて、初めは治療が困難と思われるような褥瘡をお持ちの方や、かゆみが強く他の利用者に皮膚感染を引き起こす疥癬を抱えている方も多く見受けられましたが、年数がたち介護者の介護力の進歩により、今ではごくまれにしか当センターでは見受けられなくなりました。職員の介護姿勢や技術も進歩して拘束をせずまた身体の負担のかからない介護になってきています。実際、開苑当初は利用者の介護により深刻な腰痛に悩まされていた介護士、看護師も多かったですが、今ではかなり減少しているように感じます。
このように職員の努力もあり進歩してきたと思われる介護の世界ですが、今までの 30 年を一区切りと考えると、今後の 30 年は果たしてどういう世界になるでしょうか。間違いなくより高齢者が増えると予想されますがここで強調しておきたいのは決して悲観的な様相ではなく、すなわち高齢者＝介護される人、ではないということです。介護を含めた世の進捗により、利用者の生活やスタイルが向上して充実した生活が送れるようになり、結果として利用者の笑顔を減らさないことが理想であり目標と思います。
そのために自分ももう少し、微々たるものですが貢献していきたいと思います。

２月の行事食

２月３日(金)昼食時　節分
恵方巻/高野豆腐のそぼろあんかけ/つみれ汁/季節の果物

２月14日(月)おやつ時
チョコのおかし

２月16 日(水)昼食時
しらさぎ大飯店(中華の日)
中華粥/中華スープ/エビチリ風/点心２点/中華サラダ/杏仁豆腐/

12 月のご様子

年忘れの会 12/21

１年を振り返り、思い出を皆さんと語り合いました。

サイダーでかんぱーい！

折り鶴をはっていただきました☆

謹んで新春の祝詞を申し上げます。
厳しい寒さが続きます。いかがお過ごしでしょうか。年末年始にかけてじわりじわりとコロナ感染が再拡大しております。基本の感染対策を心がけていきましょう。新たな気持ちで今年一年よろしくお願いします。

今年も皆様の素敵な笑顔で新しい年がスタートいたしました

本年もよろしくお願いいたします

あけまして
おめでとう
ございます

2023

書き初めのご様子

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症は、終息の気配が見えず、市内でもインフルエンザの流行も始まり、厳しい冬となりました。引き続き皆さまのご理解ご協力をいただきながら、最大限の感染対策を講じていきます。

本年も職員一同よろしくお願いいたします。